

「平成25年度 新・相模原市総合計画の成果指標・1次評価」結果一覧

基本目標										
施策名	成果指標	総合計画進行管理							改善工程表 (有:)	所管局
		平成25年度実績				【参考】平成24年度実績				
		成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)		総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)		
誰もが安全でいきいきと暮らせる安心・福祉都市										
01 地域福祉の推進										
	【指標1】地域で、住民が互いに支えあっていると 感じる市民の割合	B	B	本施策の成果指標は「B」評価となっているものの、前年度の実績値を下回った。サブ指標は整備が完了したことにより「A」評価であった。また、施策を構成する主な事務事業については、概ね目標どおり実施したが、一部の事業において目標値を下回ったことなどを助案し、1次評価を「B」とした。		B	B			健康福祉局
	【サブ指標1】バス停留所のバリアフリー化対応率	A			B					
02 援護を必要とする人の生活安定と自立支援										
	【指標2】生活保護を受けている人のうち、自立支援プログラムに参加した人の割合	A	A	本施策の成果指標については、自立支援事業の推進において生活保護受給者数が目標設定時に算出していた人数を大幅に増加しているにも関わらず、個々のニーズに対応した支援メニューの効果的な活用により、受給者に占める参加者の割合は増加し、目標値を大きく上回った。また、施策を構成する主な事業においても目標を上回ったことから、1次評価を「A」とした。		A	A			健康福祉局
03 子どもを生まやすい環境の整備										
	【指標3】合計特殊出生率	A	B	乳幼児健康診査の受診勧奨については、保育所や幼稚園にパンフレットの配布を依頼するなど、受診率向上に取り組んでいる。特に、こんにちは赤ちゃん事業は、4ヶ月児・8ヶ月児健診にも繋がる事業として全世帯訪問を目標として積極的に取り組んでおり、母子保健の充実に向けた取組は着実に推進できているが、各指標とも前年度実績をわずかに下回っていることから1次評価を「B」とした。母子保健を取り巻く環境は社会・経済状況が大きく影響するところでもあるため、今後も各世帯の状況に応じたきめ細やかな対応をおこなうなど、「子どもを生まやすい環境の整備」を推進したい。		A	A	B		健康福祉局
	【指標4】子どもを生まやすい環境であると感じている市民の割合	B			A					
	新 【サブ指標1】乳幼児の健康状況把握率	B			-					
04 子育て環境の充実										
	【指標5】子どもを育てやすい環境であると感じている市民の割合	B	B	サブ指標は目標を達成したが、本施策の2つの成果指標は、目標値を下回った。また、施策を構成する主な事業においても目標を達成できなかったものがあることから、1次評価を「B」とする。		B	B			健康福祉局
	【指標6】子どもを必要ときに預けられる場(人・場所)がある親の割合	B			B					
	【サブ指標1】児童虐待に関する通告相談に対する対応率	A			A					
05 青少年の健全育成										
	【指標7】不良行為少年補導人数	A	B	本施策の2つの成果指標を大きく上回り、サブ指標についても目標を上回った。しかし、事業の取組結果については、青少年活動支援事業・青少年健全育成環境づくり事業のいずれも目標値を下回ったため、1次評価をB評価とする。		A	B			健康福祉局
	【サブ指標1】ニート・フリーターの相談者数に対する就学・就職者数の割合	A			B					

「平成25年度 新・相模原市総合計画の成果指標・1次評価」結果一覧

基本目標										
施策名	成果指標	総合計画進行管理							改善工程表 (有:)	所管局
		平成25年度実績				【参考】平成24年度実績				
		成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)	総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)		
誰もが安全でいきいきと暮らせる安心・福祉都市										
06 高齢者の社会参加の推進										
【指標8】活動の場がある高齢者の割合	B	B	本施策の成果指標及び2つのサブ指標は目標を下回ったものの、施策を構成する主な事業については目標を上回った事業もあり、高齢者の社会参加の推進に向け多様な取組を進めていることから、1次評価を「B」とした。		-	B	B		健康福祉局	
【サブ指標1】シルバー人材センターの就業延人数	B			A						
【サブ指標2】地域貢献講座の受講者数	B			B						
07 高齢者を支える地域ケア体制の推進										
【指標9】健康と感じている高齢者の割合	A	A	設定した成果指標のうち、サブ指標2を除いたすべてが目標値を上回った。また、施策を構成する事業においても、目標どりの実績が得られ、施策の目標達成に向け十分な効果が現れていることから、1次評価を「A」とした。		-	A		健康福祉局		
【指標10】高齢者が地域で見守られ、支えられて暮らしていると感じている人の割合	A			A						
【指標11】介護サービス利用者の満足度 (3年毎に測定されるもの、次回平成25年度予定)	A			-						
【サブ指標1】一次予防事業の参加者数	A			A						
【サブ指標2】介護保険サービス受給者における 居宅サービス・地域密着型サービス受給者の割合	B			B						
08 障害者の自立支援と社会参加										
【指標12】一般就労をした障害者の数	D	B	障害者基本法の改正や障害者総合支援法の施行、障害者権利条約の批准など障害者を取り巻く環境が大きく変化する中、障害者が地域で安心して暮らすことができるよう、障害福祉サービス事業所等運営法人や社会福祉事業団、公共職業安定所等と連携し、施策の推進に努めた。しかし、施策全体として、5つの指標のうち、2つが目標を上回ったものの、目標を達成できなかった指標もあったことから、1次評価をBとした。		D	B		健康福祉局		
【指標13】日中活動系事業所の利用者数	A			A						
【指標14】相談支援を受けている件数	D			D						
【指標15】障害福祉サービスなどに満足している市民の割合 (次回測定時期:平成25年度)	B			-						
【サブ指標1】市内6箇所の障害者支援施設に満足している利用者の割合	A			A						

「平成25年度 新・相模原市総合計画の成果指標・1次評価」結果一覧

基本目標										
施策名	成果指標	総合計画進行管理							改善工程表 (有:)	所管局
		平成25年度実績				【参考】平成24年度実績				
		成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)	総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)		
誰もが安全でいきいきと暮らせる安心・福祉都市										
09 障害児の支援										
	【指標16】療育相談やリハビリテーションを行っている障害児の数(利用者数)	A	A	成果指標では目標値を上回った。また、施策を構成する事務事業についても、多少の遅れはあったものの、目標を達成することができた。障害児支援では、福祉・医療・教育との連携は非常に重要であり、就学前では就学指導委員会専門部会の体制強化や、就学後の保護者や学校からの相談に対応できる関係機関との連携による継続的な支援、発達障害者支援ネットワーク会議の開催など療育支援体制の充実を図ることができたことから、1次評価をAとした。		A	A			健康福祉局
	【サブ指標1】地域生活支援事業の実施(障害児やその家族を支援する人材の育成等)	A			A					
10 健康づくりの推進										
	【指標17】自分が健康であると感じている人の割合	B	B	成果指標については、サブ指標1及び2について目標を達成した。目標を達成できなかった指標についてはいずれも95%を超える達成率であったが、前年度の実績を下回った指標があった。また、施策を構成する主な事業においては、目標を達成できなかった事業が2事業あったが、がん検診受診者数の増加や、健康増進事業、精神保健相談事業、食育推進事業等、心と体の健康づくりに向けた取組を着実に推進していることなどを総合的に評価し、1次評価を「B」とした。		B	B	B		健康福祉局
	【指標18】日常生活で健康づくりに取り組んでいる市民の割合	B			B					
	【サブ指標1】食育フェアに参加し、「これからできそうなことがあった」と感じた人の割合	A			A					
	新 【サブ指標2】心疾患及び脳血管疾患の死亡率(人口10万人対)	A			-					
11 医療体制の充実										
	【指標19】安心して医療を受けることができている市民の割合	A	A	急病診療事業、地域医療事業については指標も目標に達成し、滞りなく事業が進められている。また、国民健康保険の収納状況についても改善が図られていることから、1次評価を「A」とした。		A	A			健康福祉局
	【指標20】収容依頼3回以内で受け入れられた救急搬送者の割合	A			A					
	【サブ指標1】国民健康保険税の収納率	B			B					
12 保健衛生体制の充実										
	【指標21】結核患者数	A	A	成果指標及びサブ指標については、目標を達成できなかった指標は4項目中1項目のみであったが、その1項目についても極めて高い達成率であった(99.9%)。また、施策を構成する主な事業においても、目標を達成できなかった事業は1事業のみであり、感染症まん延防止対策の推進、健康危機へ対応するための検査機能の強化、食の安全・安心と衛生的な生活環境の確保、ペットの適正飼養に関する意識啓発などの様々な取り組みを着実に推進していることを総合的に評価し、1次評価を「A」とした。		A	B	B		健康福祉局
	【指標22】収去検査結果による基準値に対する違反率	B			A					
	【サブ指標1】収容した犬・猫の返還・譲渡率	A			B					
	新 【サブ指標2】浴槽水等検査実施率	A			-					

「平成25年度 新・相模原市総合計画の成果指標・1次評価」結果一覧

基本目標										
施策名	成果指標	総合計画進行管理							改善工程表 (有:)	所管局
		平成25年度実績				【参考】平成24年度実績				
		成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)		総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)		
誰もが安全でいきいきと暮らせる安心・福祉都市										
13	市民生活の安全・安心の確保									
	【指標23】市内で発生した犯罪認知件数(千人あたりの犯罪認知件数)	A	B	犯罪認知件数や交通事故件数は順調に減少してきており、目標を大きく上回る成果が出る一方、消費者被害については、相談件数が増加している高齢者への対応として福祉部門との連携による啓発などを実施したが、目標達成が出来なかったため、1次評価をB評価とした。		A	A			市民局
	【指標24】市内で発生した交通事故件数(千人あたりの交通事故件数)	A			A					
	【指標25】消費者被害に遭わないように注意している市民の割合	C			C					
14	災害対策の推進									
	【指標26】避難路整備率	A	A	施策全体として、3つの成果指標のうち、2つの指標が目標値を上回ったが、指標2については、地域住民との調整や作業工程の変更などにより完成が翌年度へ先送りとなり目標を達成できなかったこと及び事務事業においても一部目標を達成できない事業があった。しかしながら、防災条例の制定や防災減災プログラムの実施など、総合的な取り組みを進めることができたことから、1次評価をAとした。		A	A	A		危機管理局
	【指標27】浸水被害警戒対象地域の解消率	B			A					
	【指標28】災害対策をしている市民の割合	A			A					
	新 【サブ指標1】緊急雨水対策事業箇所における浸水被害の解消率	B			-					
15	消防力の強化									
	【指標29】延焼率	A	A	救命率の向上については計画的な救急救命士の養成等により、救命率の目標値を超えることができ、また火災予防推進事業で進めている住宅用火災警報器設置率の増加や火災予防の思想普及の推進により、延焼率の低下に加え、火災件数も減少しており、施策目的のめざす姿に直結した取組を実施し効果もあげていると判断し、1次評価をAとした。		B	B			消防局
	【指標30】救命率	A			A					
	【サブ指標1】普及講習会受講者数	A			A					
学びあい 人と地域をはぐむ教育・文化都市										
16	学校教育の充実									
	【指標31】授業が分かりやすいと感じている児童・生徒の割合	A	B	施策を構成する主な事業においては、概ね指標・目標が達成できたものの、「特別支援教育推進事業」や「児童・生徒健全育成事業」では新たな課題が生じたことや、成果指標32については目標を達成することはできなかったため、1次評価をBとした。		A	B			教育局
	【指標32】学校を楽しんでいる児童・生徒の割合	B			B					

「平成25年度 新・相模原市総合計画の成果指標・1次評価」結果一覧

基本目標										
施策名	成果指標	総合計画進行管理							改善工程表 (有:)	所管局
		平成25年度実績				【参考】平成24年度実績				
		成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)		総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)		
学びあい 人と地域をはくむ教育・文化都市										
17	家庭や地域における教育環境の向上									
	【指標33】子どもとのコミュニケーションが図られていると感じる保護者の割合	B	B	基本計画で定めている4つの指標のうち、1つの指標は目標値を上回ったが、3つの指標については、目標値を達成できなかったことから、今後も事業の取組に改善が必要であるため、1次評価をBとした。		A	B	B		
	【指標34】親が自分のことを理解してくれていると思う子どもの割合	A			A					
	【指標35】地域における子どもの育成活動に参加した市民の割合	C			B					
	【指標36】地域行事に参加している子どもの割合	B			B					
18	生涯学習の振興									
	【指標37】学習機会を得ていると思う市民の割合	B	B	成果指標が目標値を上回ることができなかった要因の一つとして、生涯学習が市民に十分理解されていないと考えるため、今後も事業の取組に改善が必要であることから、1次評価をBとした。		B	B			
	【指標38】学習成果を他の人に還元している市民の割合	B			B					
19	生涯スポーツの振興									
	【指標39】スポーツを定期的に行う市民の割合	B	B	市内のスポーツ施設64施設の適正な管理と利便向上に努め、年間延べ約411万人が「する」スポーツに親しめる環境を整えているが、指標(スポーツを定期的に行う市民の割合)は0.3ポイントの増加に留まったことから、「する」スポーツ事業の取組に改善の余地があるものとし、1次評価をBとした。		B	B	B		
20	文化の振興									
	【指標40】文化・芸術に親しんでいる市民の割合	B	B	街かどコンサートや商業施設等での作品展示等市民に身近な場所での文化に触れる機会の提供や、市内の文化芸術や文化財等のイベントを集約したガイドブックを発行するなど様々な事業を実施したが、成果指標の目標達成に至らなかった。また、サブ指標である文化財普及活動へのボランティア参加者も目標達成には至らなかったが、前年比35%と大幅に増加したため、1次評価はBとした。		B	B	B		
	【サブ指標1】文化財普及活動へのボランティア参加者数	B			C					
	新 【サブ指標2】指定管理者が行う事業の入場者数	A			-					
21	国際化の推進									
	【指標41】日常生活のなかで市民と外国人市民が交流している割合	B	B	基本計画で定めている指標に係る目標値には達していないものの、様々な事業展開により、実績値が上昇していること、国際交流ラウンジの機能充実の方向性を検討し、平成26年度以降の機能充実にも着実に取り組んでいることから、1次評価をBとした。		B	B			

「平成25年度 新・相模原市総合計画の成果指標・1次評価」結果一覧

基本目標										
施策名	成果指標	総合計画進行管理							改善工程表 (有:)	所管局
		平成25年度実績				【参考】平成24年度実績				
		成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)		総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)		
学びあい 人と地域をはくむ教育・文化都市										
22	人権尊重・男女共同参画の推進									
	【指標42】人権の侵害を受けていると感じている市民の割合	A	B	人権啓発事業や人権教育推進事業により人権尊重思想の普及を図るなどにより、人権に係る目標は達成している。一方、男女共同参画に係る目標は達成に至っていないが、審議会等における女性委員の割合については、事前協議制の実施を開始したことなどにより、平成25年度は2.9%の増加が図れており、1次評価をB評価とした。		A	A			市民局
	【指標43】家庭・地域・学校・職場などで男女平等であると思っている市民の割合	B			A					
	【指標44】市審議会等における女性委員割合	B			B					
23	世界平和の尊重									
	【指標45】世界平和の実現に向けた取り組みに参加している市民の割合	B	B	成果指標における目標値は、達成できなかったが、学校教育と連携した事業実施による参加世代の拡大が見られたこと、各イベントでのアンケート結果が好評であったことから、1次評価をBとした。		B	B			総務局
やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市										
24	地球温暖化対策の推進									
	【指標46】市全体の温室効果ガス総排出量	B	A	地球温暖化対策推進条例に基づき、市民・事業者への支援として住宅用太陽光発電システム設置補助や中小規模事業者省エネ設備設置補助などにより、市民・事業者の省エネ活動や地球温暖化対策が普及促進され、施策全体として順調な施策展開が図られた。 一方、東日本大震災に伴う電力不足を火力発電で電力を補ったことから、二酸化炭素排出量が増加する結果となっているが、電力使用量は基準年と比較して大幅に減少し、基準年と同一の排出係数で平成23年度の二酸化炭素排出量を試算すると、約375万t CO2と算定され、基準年の排出量438万t CO2と比較すると14.4%の削減となることから1次評価をAとした。		A	A			環境経済局
	【サブ指標1】産業部門の温室効果ガス排出量 (製造業、建設業等)	A			A					
	【サブ指標2】民生家庭部門の温室効果ガス排出量 (市民生活関連)	C			B					
	【サブ指標3】民生業務部門の温室効果ガス排出量 (事務所や商業・サービス業施設等)	C			B					
	【サブ指標4】運輸部門の温室効果ガス排出量 (自動車、鉄道等)	A			A					

「平成25年度 新・相模原市総合計画の成果指標・1次評価」結果一覧

基本目標										
施策名	成果指標	総合計画進行管理						改善工程表 (有:)	所管局	
		平成25年度実績				【参考】平成24年度実績				
		成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)		総合評価 (2次評価)	成果指標 結果			総合評価 (1次評価)
やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市										
25	環境を守る担い手の育成									
	【指標47】日常生活において、環境に配慮している市民の割合	B	B	【指標47】については、「増加」を目標に掲げているものの反対に減少傾向となっている。環境情報センターの来所者数やHPへのアクセス件数、環境まつりの来場者数、太陽光の設置件数など順調に増加している施策がある中、環境行動を意識する市民の割合が減少していることは課題であるが、今後ともより身近な環境行動の啓発を促進することにより市民の意識の向上に努めていきたい。 環境を守る担い手については、環境情報センターを中心に学習・啓発活動や市民・事業者団体とのネットワークづくり等の様々な施策が展開されている。 また、実行委員会形式による「環境まつり」には多くの来場者があった。 自然環境観察員制度も10年間のまとめがなされるなどボランティアの主体的活動が進んでいる。 更に、平成25年3月に発足した「さがみはら地球温暖化対策協議会」も順調に会員数を伸ばし、様々な啓発事業が展開されている。 しかしながら、指標47のアンケート結果がB評価であることから1次評価をBとした。			B	B		環境経済局
26	資源循環型社会の形成									
	【指標48】市民1人1日あたりの家庭ごみ排出量	B	B	街頭キャンペーンでは、生ごみの水切りグッズを配布し、市民に積極的にごみ減量の啓発を進めたことや、若年層を対象としたごみ分別アプリの開発、「ごみと資源の日程・出し方カレンダー版」の全戸配布など、新たな手法による周知啓発にも取り組んだこと。また、使用済小型家電リサイクル事業では排出する拠点数を増やすなど、さらなるごみの減量化・資源化を推進したことは大いに評価できる。指標は2つが達成率99%以上、1つが97%以上とほぼ達成しているが、すべてB判定であることから総合評価はBとした。			B	B		環境経済局
	【指標49】リサイクル率	B				B				
	【指標50】ごみ総排出量	B				A				
27	廃棄物の適正処理の推進									
	【指標51】市内で発生するごみが、市焼却施設及び最終処分場で処理される割合(家庭ごみ)	A	A	施策の2つの成果指標については双方とも目標値を上回っており、施策を構成する主な事業の取り組みも着実に実施できたことから、評価をAとした。			A	A		環境経済局
	【指標52】ポイ捨て、不法投棄を防止し、まちの美観が保たれていると感じる市民の割合	A				A				
28	水源環境の保全・再生									
	【指標53】管理された森林面積の割合(水源の森林づくり事業)	A	B	施策の2つの成果目標のうち、【指標54】については、目標値を下回ったが、【指標53】は目標値を上回ったこと、また施策を構成する主な事業の取組は概ね順調に図られたことから1次評価はBとした。			A	B		環境経済局
	【指標54】市域から津久井湖に流入するチッソ・リンの削減量	D				C				

「平成25年度 新・相模原市総合計画の成果指標・1次評価」結果一覧

基本目標										
施策名	成果指標	総合計画進行管理							所管局	
		平成25年度実績				【参考】平成24年度実績				改善工程表 (有:)
		成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)		総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)		
やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市										
29	人と自然が共生する環境の形成									
	【指標55】緑地率	B	A	指標55「緑地率」の割合は、平成23年度から横ばいで目標値に0.1%満たないものの、指標56「水辺やみどりに親しめ場が十分であると感ずる市民の割合」や、施策31の指標59「市街地、公共施設等における緑化満足度」は、実績値が目標値を上回り、市民は一定の満足と得ているものと分析する。 指標56は、目標値及び前年度実績値を上回ったのは、市民との協働による緑地の保全・活用事業や環境に配慮した多自然川づくりなど、長年にわたり創意工夫しながら進めてきた公園・緑地等の維持管理が有効であった結果と思われる。したがって、1次評価結果をAとした。		B	B	B	環境経済局	
	【指標56】水辺やみどりに親しめる場が十分であると感ずる市民の割合	A			A	環境経済局				
30	生活環境の保全									
	【指標57】大気・水質規制基準適合率	A	A	2つの成果指標とも目標を上回って達成しており、施策を構成する主要事業の取組みも良好であることから、1次評価結果をAとした。		A	A	A	環境経済局	
	【指標58】調査測定地点環境基準適合率	A			A	環境経済局				
31	快適な都市空間の創造									
	【指標59】市街地、公共施設等における緑化満足度	A	B	施策を構成する各事業が予定通り実施されている中で、緑化満足度・緑化活動に取り組む市民の割合・公園の満足度について、目標値の達成率は全体平均で9割以上であり、緑化・公園の満足度も8割以上(10人中8~9人)の方が満足していることを踏まえて、1次評価をBとした。		A	B	B	環境経済局	
	【指標60】緑化活動に取り組む市民の割合	C			B	環境経済局				
	【指標61】公園の満足度	B			A	環境経済局				
32	雇用対策と働きやすい環境の整備									
	【指標62】有効求人倍率	C	B	成果指標のうち、指標62については、国の経済政策などにより景気は改善傾向にあるものの、中小企業を取り巻く環境の改善がまだ見られない状況にある。本市のみの施策の実施では、効果が限られる面がある中、相模原市総合就職支援センターを設置するなど施策を構成する事務事業は計画どおり実施し、実績値は上がってきている。 サブ指標1・2に示したさがみはら若者サポートステーションの就職・就学率、相模原市就職支援センターの就職率については、目標を上回っており、効果が高い事業等となっている。 以上のことを総合的に判断して1次評価はBとした。		C	B	B	環境経済局	
	【指標63】ワーク・ライフ・バランスを考えた福利制度を導入している中小企業の割合(4年毎に測定されるもの、次回平成28年度予定)	-			-	環境経済局				
	【サブ指標1】さがみはら若者サポートステーションの就職・就学率	A			A	環境経済局				
	【サブ指標2】相模原市就職支援センターの就職率	A			A	環境経済局				
	【サブ指標3】ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた見直しの推進率	-			B	環境経済局				
	新 【サブ指標4】相模原市総合就職支援センター利用者の進路決定率	A			-	環境経済局				

「平成25年度 新・相模原市総合計画の成果指標・1次評価」結果一覧

基本目標											
施策名	成果指標	総合計画進行管理							改善工程表 (有:)	所管局	
		平成25年度実績				【参考】平成24年度実績					
		成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)		総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)			総合評価 (2次評価)
やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市											
33	地域経済を支える産業基盤の確立										環境経済局
	【指標64】製造品出荷額等	B	B	施策を構成する主な事業については概ね目標を達成しているが、【指標64】については目標を下回っているため、1次評価はBとした。				B	B		
34	新産業の創出と中小企業の育成・支援										環境経済局
	【指標65】新規の開設事業所数	A	A	【指標65】が目標を上回り、各事業が積極的に展開されていることから、1次評価はAとした。				A	B		
	【指標66】経営安定の中小企業数(黒字申告をした企業数) (8月以降発表予定)							B			
35	商業・サービス業の振興										環境経済局
	【指標67】小売業年間販売額(商品販売額) (概ね5年毎に測定されるもの、次回平成26年度予定)	-	A	成果指標については実績値が出ていないが、街のにぎわいを示すサブ指標として設定した中心商業地、地区中心商業地の駅の乗降者数に加え、施策を構成する主な事業「中心商業地の魅力向上事業」の指標である商店会長の景況感についても目標を上回ったため、1次評価を「A」とする。				-	B		
	【サブ指標1】橋本駅、相模原駅、相模大野駅、上溝駅、淵野辺駅、東林間駅、小田急相模原駅及び古淵駅の乗降者数	A						A			
36	都市農業の振興										環境経済局
	【指標68】農用地区域内における耕作地面積の割合	B	B	施策全体として、2つの成果指標のうち、いずれも目標は達成できなかったが、「耕作地面積の割合」については、担い手確保対策などの関連施策の推進と併せ、明確な上昇トレンドとなっている。一方、「市内農業生産量」については、昨年の農産物直売所の開設を契機として、中長期的には市内農産物の生産拡大が見込まれる。 このように、特色ある本市都市農業の確立に向け、実情に即した効果的な取組を進めることができたことから、1次評価をBとした。				B	B		
	【指標69】市内農業生産量 (5年毎に測定されるもの、平成24年3月実施)	B						B			
37	魅力ある観光の振興										環境経済局
	【指標70】入込観光客数	B	B	施策の成果指標である「1人あたりの観光客消費額」については、目標額を上回っているが、「入込観光客数」については、目標数に達していない状況であることから1次評価をBとした。				B	B	B	
	【指標71】1人あたりの観光客消費額	A						A			

「平成25年度 新・相模原市総合計画の成果指標・1次評価」結果一覧

基本目標											
施策名	成果指標	総合計画進行管理							改善工程表 (有:)	所管局	
		平成25年度実績				【参考】平成24年度実績					
		成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)		総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)			総合評価 (2次評価)
活力にあふれ多様な交流が生まれる広域交流拠点都市											
38	計画的な土地利用の推進										
	【指標72】特定保留区域の市街化編入率	D	B	2つの成果指標のうちひとつが目標値を達成、もうひとつの成果指標が未達成であったが、施策を構成する事務事業については予定どおりの事業実施が図られたことから、1次評価をBとした。		A				都市建設局	
	【指標73】自然的土地利用を図るべき地域の面積	A			A	B					
	新 【サブ指標1】生産緑地地区の追加・拡大箇所数の割合	A			-						
39	広域交流拠点都市にふさわしい都市拠点の形成										
	【指標74】市内3拠点の駅乗降客数	A	A	成果指標が目標値を上回るとともに、施策を構成する事務事業についても、広域交流拠点関連事業では広域交流拠点基本計画の策定や調査を進めるなど具体的に動き始めたことや、相模大野駅西側地区市街地再開発事業ではさらなる利便性の向上のための事業の実施が予定どおり図られたことから、1次評価をAとした。		B	A	B		都市建設局	
40	新たな産業拠点の形成と地域の拠点の活性化										
	【指標75】インターチェンジ周辺の企業立地件数	D	B	企業立地までには至らず成果指標の実績が0となっているが、新しく設定したサブ指標にあるように当麻地区及び川尻大島界地区区画整理事業において公共施設整備や造成工事に着手し使用収益開始面積が広がったことや、各地区それぞれの事業の進捗が着実に図られていることから、1次評価をBとした。		D		B	B	都市建設局	
	新 【サブ指標1】土地区画整理事業等における使用収益開始面積	A			-						
41	広域的な交流を支える交通体系の確立										
	【指標76】市内3拠点から市外主要都市駅までの鉄道の所要合計時間の短縮(片道) (小田急線複々線化終了まで変更なし)	-	B	施策を構成する事務事業については予定どおりの事業実施が図られたが、2つの成果指標がいずれも測定結果が出ないことから、1次評価をBとした。		-		A		都市建設局	
	【指標77】市役所から市内外主要地点までの自動車での合計移動時間の短縮(片道) (さがみ縦貫道路開通まで変更なし)	-			-						
42	地域を支える交通環境の充実										
	【指標78】市内主要地点間の所要時間合計(片道) (5年毎に測定されるもの、次回平成26年予定)	-	B	成果指標が目標値には届かなかったものの、新たな地区でのコミュニティバスの実証実験が始まったことなどから公共交通カバー率が上昇するとともに、施策を構成する事務事業は予定どおり実施できたため、1次評価をBとした。		-		A		都市建設局	
	【指標79】市域面積(国定公園及び水面・河川敷の面積を除く)に対する公共交通カバー率	B			B						

「平成25年度 新・相模原市総合計画の成果指標・1次評価」結果一覧

基本目標										
施策名	成果指標	総合計画進行管理							改善工程表 (有:)	所管局
		平成25年度実績				【参考】平成24年度実績				
		成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)		総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)		
活力にあふれ多様な交流が生まれる広域交流拠点都市										
43	公共交通を中心とする交通体系の確立									
	【指標80】人口規模に対する公共交通の利用割合 (5年毎に測定されるもの、次回平成26年予定)	A	A	成果指標については平成24年度実績ではあるが目標値を達成しており、サブ指標についてもこれまでの取組が実を結び目標値を大幅に上回る結果が出たほか、施策を構成する事務事業についても全体的に予定どおりの事業実施が図られたことから、1次評価をAとした。		-	A			都市建設局
	【サブ指標1】放置自転車等の台数	A			B					
44	魅力ある景観の保全と創造									
	【指標81】市街地の景観が良好に保たれていると感じる市民の割合	B	B	成果指標のうちひとつは目標値を若干下回ったが、ひとつは目標値に達した。また、施策を構成する事務事業においては、「都市デザイン推進事業」については目標値に達したが、「屋外広告物適正化推進事業」においては目標値を下回った。以上のことから、1次評価をBとした。		A	A			都市建設局
	【指標82】自然的な景観が良好に保たれていると感じる市民の割合	A			A					
45	安全で快適な住環境の形成									
	【指標83】住環境のルールを定めている地区の数	A	B	施策全体としては、成果指標について目標値を上回るとともに、各事業について基本的に進捗が図られたものの、耐震化促進に係る補助事業の実績が低迷していることから、1次評価をBとした。		A	B			都市建設局
	【指標84】住宅の耐震化率 (相模原市耐震改修促進計画の見直し時に設定、次回平成27年予定)	-			-					
46	基地の早期返還の実現									
	【指標85】基地の存在が日常生活において支障があると感じる市民の割合	B	A	粘り強く継続的に実施していくことが重要な事業ではあるが、平成25年度は、これまでの要請活動の結果として、相模総合補給廠の北側外周部分の返還について正式合意され、このことが実績値の増加につながったことから、1次評価はAとする。		A	A	A		総務局
市民とともに創る自立分権都市										
47	分権型のまちづくりの推進									
	【指標86】住んでいる地域のまちづくりや課題解決を区民主体で進めていると感じる市民の割合	B	B	施策を構成する主な事業の目標は達成出来ており、様々な創意工夫のもと、区民主体のまちづくりの推進に向けて事業を実施したが、成果指標の目標は達成出来なかったため、1次評価をB評価とした。		B	B			市民局

「平成25年度 新・相模原市総合計画の成果指標・1次評価」結果一覧

基本目標										
施策名	成果指標	総合計画進行管理							改善工程表 (有:)	所管局
		平成25年度実績				【参考】平成24年度実績				
		成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)		総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)		
市民とともに創る自立分権都市										
48	皆で担うまちづくりの推進									
	【指標87】地域活動への参加率	B	B	施策を構成する主な事業については、着実に実施しているが、目標値を達成できていない指標があるなど、施策の目標実現のためには、より積極的な取組みが必要であることから、1次評価をBとする。		A	B			市民局
	【指標88】市民活動への参加率	B				B				
	【指標89】市内のNPO 法人数	A				A				
49	行政サービス提供体制の充実									
	【指標90】求めている行政サービスが、必要なときに身近な場所で受けることができていると感じる市民の割合	B	A	成果指標の目標は若干下回ったものの、サブ指標の目標を上回るなど概ね目標を達成した。主な事業については、コールセンター運営事業では、目標とする放棄呼率を達成するとともに、CRMベストプラクティス賞を受賞するなど対外的な評価を受けた。また、パスポートセンターを開設し、市民の利便性の向上を図るとともに、コンビニや郵便局での各種証明書等の交付について庁内調整を図るなど、窓口サービスの更なる充実に向け、積極的に取り組んでいるため、1次評価をA評価とした。		B	A	B	市民局	
	新 【サブ指標1】諸証明書交付の全体数に占める自動交付機等、窓口以外での交付件数の割合 (諸証明:住民票,印鑑証明)	A				-				
50	市民と行政のコミュニケーションの充実									
	【指標91】市政に意見を言える機会や手段が備わっていると思う市民の割合	A	A	各事業の指標・目標に係る取組が着実に推進されている。特に、広聴事業、広報事業においては、市民にも目に見える形で事業が展開され、その効果・影響も大きいと考えることから1次評価をAとした。		A	A		総務局	
	【指標92】市からの情報提供の手段や内容に満足している市民の割合	B				A				